

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		波の家大久保駅前発達支援センター（児童発達支援）		公表日		令和7年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	必要最低限の物のみ設置しており、できる限り広く使えるような空間作りを行っている。また、時間帯によっては別の階で過ごせるようにしている。	クールダウンが必要になった方が過ごすスペースの確保が必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	利用者のその日の様子を保護者から詳しく聞き取り、職員間で細かな情報まで共有し、連携を取りながら対応をしている。	個別での支援が必要な利用者の方が多くいる場合の、職員のスムーズな連携体制。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	部屋には、必要な物のみ配置している。また、階段での移動が必須であるため、子供用に高さの低い手すりを設置している。階段での移動の際は職員が必ずつくようにしている。	雨天時の階段の上り下りの安全性。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	利用者の刺激にならないように、壁面等の環境設定には配慮している。また、半年に1回、法人全体で点検があり、施設全体を清潔に保てるようにしている。	活動内容に合わせた空間の確保。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	別の階や別室など、時間帯に応じて対応できるようにしている。	移動ができない時の場所の確保。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	全職員が参画できるように設定している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	全職員が把握したうえで話し合いの場を設けている。そこから改善につなげられるようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	意見を言いやすい雰囲気作りをしており、様々な意見を聞きながら検討している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	良い評価、悪い評価を受け止め、第三者の意見を聞きながら改善ができるようにしている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	法人内の研修については、研修を受ける職員が偏らないようにしている。また、様々な研修の案内を知らせ、受けやすい環境作りを行っている。	外部の研修についても研修を受けやすい雰囲気作りを行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	内容が偏らないように様々なプログラムを設定しながら行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	保護者のニーズを聞き取りながら作成をしている。また、保護者がどのようなことでも言いやすい雰囲気を作っていくことを意識している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が作成した支援計画を支援員が確認し、検討を重ねた上で本計画の作成を行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援計画の完成時にはミーティングで詳しく伝え、職員全員で共通理解をし、そこから適切な支援ができるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	毎日のミーティングでは発達検査の結果や日々の行動について全員で確認をしている。また、口頭のみではなく記録として残すことで振り返りやすくしている。	検査結果の見方の伝達。また、日々の行動からの支援のやり方について一貫性を持つこと。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が作成した支援計画を支援員が確認し、より具体的な支援内容を設定するために検討を重ねて本計画の作成を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	利用者が興味を持ったものや興味が乗らなかったものを職員間で共有しながら、様々なプログラムを設定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	5領域に沿いながら固定化しないように、様々な意見を取り入れて、プログラムを行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別療育での様子を聞きながら集団活動での様子と組み合わせで一人一人に寄り添った計画を作成している。その計画を基に情報を共有しながら支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日のミーティングで様々な情報を共有し、支援の方向性を確認しながら職員全体で連携を取っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	職員の退勤時間が異なるため、翌日朝のミーティングで前日の支援についても必ず振り返りを行っている。どのような事でも言いやすい雰囲気作りを心掛けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	どのようなことでも支援に関して記録を取ることを徹底しており、いつでも振り返りやすいようにしている。	
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	最低半年に一回のモニタリングで定期的に支援計画の見直しを行っている。また、保護者の要望により見直しの期間を短くすることもある。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	より理解を深めるために、常に職員全体で情報の共有をしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	併用している園の先生と見学しあったり、連絡を取り合うことで連携し、支援を統一できるようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	併用している園の保育計画を保護者の許可を得た上で確認し、支援内容等を共有しながら支援を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	保護者の許可を得た上で活動プログラムや支援内容等を記載した物を提供している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	明石市こども部会に所属しており、月に一度の連絡会に参加している。そこで他事業所と情報交換や場合によっては助言等を受けることができる。	子ども部会以外での他事業所との関わりがあまりないこと。

関係機関や保護者との連携	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	歩行訓練で公園に出かけた際には積極的にあいさつをし、他園の子どもや地域の子どもと関わりが持てるようにしている。	一緒に活動をする場を設けることはできていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	降所時にはその日の様子を伝えるようにしている。保護者がどのような事でも話しやすい雰囲気を作るようにし、その時の様子や課題を把握できるようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	コロナ後、実施していなかったが、今年度より開催する。保護者の取り入れてほしい内容を把握して、家族支援プログラムや研修の内容に活かしていく。	保護者が求める研修内容の把握。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	口頭のみではなく、実際に体験いただいたり、紙面を用いて説明をするなどして、分かりやすい説明を心掛けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	モニタリングの際に細かく話を聞きながら保護者や本人の意向を確認している。また、その際には言いやすい雰囲気を作れるようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	保護者の方に分かりやすい文言を用いて作成をし、説明をしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者から相談があればその都度対応をしている。また、一度で終わりではなく、定期的に保護者に声をかけながら必要に応じて行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	コロナ後、実施していなかったが、今年度より開催する。保護者の方の取り入れてほしい内容を把握し、交流する機会を設ける。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	保護者の方から相談があればその都度対応をしている。また、兄弟を連れてきた場合には兄弟を対応する職員を配置し、話に集中しやすいようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	通信の発行やブログのアップを行い、情報の発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報は鍵付きのボックスに入れている。また、併用している園とのやりとり等で情報が必要な場合は、保護者の方に必ず確認を取っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	利用者とは簡単なことばや絵カード、ジェスチャー等を用いてやりとりを行っている。保護者との伝達においても口頭のみではなく書面で対応するなどしている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	事業所の行事はないが自治会に入り、積極的に関わりを持つようにしている。	地域の方々と交流を持つこと。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	防災訓練を毎月1回行う中で、振り返りをし、反省点を次の訓練で改善できるようにしている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	災害時に持ち出す物の確認は月に1回行う。また、訓練を行うことで職員自身が危険意識を常に持てるようにしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	保護者からの聞き取りを行い、注意点や対応等を確認している。また、薬は手渡しでの預かりを徹底しており、管理についても職員全員で把握するようにしている。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	保護者の方からの聞き取りなどを踏まえて、対応をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	委員会主導の下、研修を定期的に行っている。研修に参加した職員が事業所の職員全員に共有をし、その都度安全管理についての確認を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	保護者の方との連携がとれるように詳細を伝えている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	記録として残し、再発防止の為の対応を必ず職員全員で確認している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	委員会主導の下、研修を定期的に行っている。研修に参加した職員が事業所の職員全員に共有をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	やむを得ず身体拘束を行う場合には検討委員会にあげるようにする。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	波の家大久保駅前発達支援センター（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 8日 ～ 2024年 9月 23日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年 8月 19日 ～ 2024年 8月 23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置について	指定基準より多くの人員を配置している。また、心理士もあり、専門的な支援を行うことができる。	職員間で連携を取りながら、一人一人に応じた計画を作成し、支援を行っていく。
2	保護者のニーズに合わせた利用ができる	短時間や長時間など保護者の希望を伺いながら、希望に合わせた利用が出来るようにしている。	随時、保護者の話を聞きながら必要に応じた支援時間、支援内容を行って行く。
3	様々なレクリエーションを行っている	季節の行事や、他施設との交流、外出レクなどのレクリエーションを行っている。	今後も様々な内容を取り入れながら、レクリエーションを行っていく。また、固定化するのではなく様々な外出先等も検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニング	実施していなかったため	保護者が来やすいテーマや複数日の設定を検討していく。
2	地域との交流	地域の方々との交流は持ていない	幼稚園や保育園、学童と併用をすることで交流を持てることある旨をお伝えし、併用を希望される方には利用日の調整をしている。開かれた事業所ではあるが、安全面等を考慮して積極的に交流をする為には様々な配慮が必要である。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 波の家大久保駅前発達支援センター（児童発達支援）

公表日 令和7年 2月 1日

利用児童

数 35

回収数 27

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	3	0	2	・広い部屋で十分なスペースだと思います。 ・室内でも体を動かす活動ができていてとても良いです。 ・送迎車を利用して直接事業所に出向いていない為、どのようにしているかいまいち分からないので「分からない」にしている。	今後も活動スペースを十分に確保しながら活動に集中しやすい環境づくりを行っていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	2	0	3	・職員の人数が多くて安心感があります。 ・通常より多くの職員の方がいると思います。 ・職員がたくさんいて、しっかり見て頂いている安心感がある。	職員の配置数についてお伝えしていきながら、安心して預けて頂けるように今後も支援に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	4	0	7	・送迎車を利用して直接事業所に出向いていない為、どのようにしているかいまいち分からないので「分からない」にしている。	面談の際などに実際に活動をしている様子を見て頂くようにしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	2	0	4	・送迎車を利用して直接事業所に出向いていない為、どのようにしているかいまいち分からないので「分からない」にしている。	常に施設内の環境美化に努めていくとともに、子どもたちの活動に合わせた空間づくりをおこなっていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	0	0	0	・昼食などでも、見守るなどいろいろ試して頂いて、一人で食べられるようになっていてすごいです。	今後も一人一人に応じた支援をしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1	0	4		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	0	0	1		発達支援計画については、再度変更があったことをお伝えしていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	2	0	0		よりお話を聞きながら、保護者の方の思いに寄り添った支援を行っていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	0	1	5		様々な活動内容を取り入れていることをお伝えしていくとともに、偏った内容にならないよう意識しながら取り組んでいます。
保護者 への 説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	3	1	4		現状としては交流を持つことは難しいですが、強い希望があれば検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	3	・説明があったが、所々分からないことが多い為「分からない」にしている。	保護者の立場に立って、分かりやすい説明をしています。また、分かりにくい点があればいつでも相談して頂けるように相談しやすい雰囲気を作ります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1	0	2	・送迎車を利用して直接事業所に出向いておらず、書面を見て納得していたような気がします。 ・説明があったが、所々分からないことが多い為、「どちらともいえない」にしている。	保護者の方に分かりやすい説明をしています。また、分かりにくい点や変更したい点があればいつでも相談して頂けるように相談しやすい雰囲気を作ります。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	2	2	3	・「いいえ」にしたが、コロナ後復活してきたようなので、今後に期待しています。	今後は開催していきます。日程が決まりましたらお伝えしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	4	0	0	・送迎の際にも様子を教えて頂けて、連絡ノートでも分かります。 ・送迎車を利用して直接事業所に出向いていない為、直接お話をする機会がありませんので「分からない」にしている。	状況をお伝えしていくことで、共通理解に努めていきます。その中で、保護者が話しやすい雰囲気づくりを行っていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	3	1	2	・送迎車を利用して直接事業所に出向いていない為、直接お話をする機会がありませんので「分からない」にしている	送迎を利用されている方に対しては電話等で話を聞くことが出来る旨をお伝えしていきます。また、保護者が話しやすい雰囲気づくりを行っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	4	0	1	・送迎車を利用して直接事業所に出向いていない為、直接お話をする機会がありませんので「分からない」にしている	保護者の話を聞いたり、施設での様子を伝えていながら、一人一人に寄り添った支援を行っていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	5	3	7	・「いいえ」にしたが、これから行われるとの事で理解しています。 ・あるのは知っているが参加をしたことがない為、「どちらともいえない」にしている。	開催が決定した際にはお伝えしていきます。また、保護者が参加したくなる企画を検討していきます。また、きょうだいへの支援については、希望があれば検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2	0	3	・就学相談の事などについて、相談に乗って頂きました。 ・あるのかもしれませんが、よくわからない。	相談や申し入れがあった際には早急に対応していきます。また、相談しやすい雰囲気づくりを行っていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	3	0	1	・送迎車を利用して直接事業所に出向いていない為、直接お話をする機会がありませんので「分からない」にしている。	保護者が話しやすい雰囲気づくりを行っていきます。送迎を利用されている方に対しては電話等で話を聞くことが出来る旨をお伝えしたり、紙面でのお知らせを行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	2	0	1		通信やブログ、ホームページで発信されていることを保護者にお伝えしていきます。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	2		個人情報の取扱い方について、お伝えしていきます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1	0	5		マニュアルが策定されていることをお伝えしていきます。また、避難訓練についても実施していることを伝えていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	2	0	2		訓練を行っていることをお伝えしていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	2	0	2		保護者に支援についてお伝えしていきます。
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	0	0	3	・したことがないので「わからない」にしている。	事故発生時に対応するマニュアルがある事をお伝えしていきます。事故等が発生した際には速やかにマニュアルに沿って行動し、報告をします。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	1	1	1	・こどもは話せないで「わからない」にしていますが、安心感はあると思います。 ・毎週楽しく通っています。 ・いつも楽しみにしていると思います。	お子さまが楽しいと思えるカリキュラム内容を設定していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	2	0	0	・いつもありがとうございます。 ・満足しています。 ・様々な支援があり、満足しています。	今後も、一人一人に寄り添いながら充実した活動を提供していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
波の家大久保駅前発達支援センター（放課後等デイサービス）		令和7年 2月 11日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	必要最低限の物のみ設置しており、できる限り広く使えるような空間作りを行っている。また、時間帯によっては別の階で過ごせるようにしている。	クールダウンが必要になった方が過ごすスペースの確保が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	3	利用者のその日の様子を保護者から詳しく聞き取り、職員間で細かな情報まで共有し、連携を取りながら対応をしている。	個別での支援が必要な利用者の方が多くいる場合の、職員のスムーズな連携体制。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	部屋には、必要な物のみ配置している。また、階段での移動が必須であるため、子供用に高さの低い手すりを設置している。階段での移動の際は職員が必ずつくようにしている。	雨天時の階段の上り下りの安全性。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	利用者の刺激にならないように、壁面等の環境設定には配慮している。また、半年に1回、法人全体で点検があり、施設全体を清潔に保てるようにしている。	活動内容に合わせた空間の確保。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	別の階や別室など、時間帯に応じて対応できるようにしている。	移動ができない時の場所の確保。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	全職員が参画できるように設定している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	全職員が把握したうえで話し合いの場を設けている。そこから改善につなげられるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	意見を言いやすい雰囲気作りをしており、様々な意見を聞きながら検討している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	良い評価、悪い評価を受け止め、第三者の意見を聞きながら改善ができるようにしている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	法人内の研修については、研修を受ける職員が偏らないようにしている。また、様々な研修の案内を知らせ、受けやすい環境作りを行っている。	外部の研修についても研修を受けやすい雰囲気作りを行っていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	内容が偏らないように様々なプログラムを設定しながら行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者のニーズを聞き取りながら作成をしている。また、保護者がどのようなことでも言いやすい雰囲気を作っていくことを意識している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が作成した支援計画を支援員が確認し、検討を重ねた上で本計画の作成を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援計画の完成時にはミーティングで詳しく伝え、職員全員で共通理解をし、そこから適切な支援ができるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	毎日のミーティングでは発達検査の結果や日々の行動について全員で確認をしている。また、口頭のみではなく記録として残すことで振り返りやすくしている。	検査結果の見方の伝達。また、日々の行動からの支援のやり方について一貫性を持つこと。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が作成した支援計画を支援員が確認し、より具体的な支援内容を設定するために検討を重ねて本計画の作成を行っている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	利用者が興味を持ったものや興味が乗らなかったものを職員間で共有しながら、様々なプログラムを設定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	5領域に沿いながら固定化しないように、様々な意見を取り入れて、プログラムを行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別療育での様子を聞きながら集団活動の様子と組み合わせ一人一人に寄り添った計画を作成している。その計画を基に情報を共有しながら支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日のミーティングで様々な情報を共有し、支援の方向性を確認しながら職員全体で連携を取っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	職員の退勤時間が異なるため、翌日朝のミーティングで前日の支援についても必ず振り返りを行っている。どのような事でも言いやすい雰囲気作りを心掛けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	どのようなことでも支援に関して記録を取ることを徹底しており、いつでも振り返りやすいようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	最低半年に一回のモニタリングで定期的に支援計画の見直しを行っている。また、保護者の要望により見直しの期間を短くすることもある。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	ガイドラインの内容を意識し、バランスを見ながら支援内容を日々考えている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	利用者が洗濯する機会を奪うような関わりにならないよう、注意しながら支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	事業所の代表として、利用者の状況を理解した職員が参加している。また、より理解を深めるために、常に職員全体で情報の共有をしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保護者の希望があれば、情報共有する場を設けている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校との情報共有は保護者を介してが基本となるが、必要に応じて、学校と直接やりとりする事もある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	できる限りの情報を共有した上で、受け入れができるように努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	保護者や事業所からの希望があれば、情報提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	明石市こども部会に所属しており、月に一度の連絡会に参加している。そこで他事業所と情報交換や場合によっては助言等を受けることができる。	子ども部会以外での他事業所との関わりがあまりないこと。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	歩行訓練で公園に出かけた際には積極的にあいさつをし、地域の子どもと関わりが持てるようにしている。	一緒に活動をする場を設けることはできていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	明石市こども部会に所属しており、月に一度の連絡会に参加している。	子ども部会以外での他事業所との関わりがあまりないこと。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	降所時にはその日の様子を伝えるようにしている。保護者がどのような事でも話しやすい雰囲気を作るようにし、その時の様子や課題を把握できるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	コロナ後、実施していなかったが、今年度より開催する。保護者の取り入れてほしい内容を把握して、家族支援プログラムや研修の内容に活かしていく。	保護者が求める研修内容の把握。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	口頭のみではなく、実際に体験いただいたり、紙面を用いて説明をするなどして、分かりやすい説明を心掛けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	モニタリングの際に細かく話を聞きながら保護者や本人の意向を確認している。また、その際には言いやすい雰囲気を作れるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	保護者の方に分かりやすい文言を用いて作成をし、説明をしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者から相談があればその都度対応をしている。また、一度で終わりではなく、定期的に保護者に声をかけながら必要に応じて行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	コロナ後、実施していなかったが、今年度より開催する。保護者の方の取り入れてほしい内容を把握し、交流する機会を設ける。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	保護者の方から相談があればその都度対応をしている。また、兄弟を連れてきた場合には兄弟に対応する職員を配置し、話に集中しやすいようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	通信の発行やブログのアップを行い、情報の発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報は鍵付きのボックスに入れている。また、学校とのやりとり等で情報が必要な場合は、保護者の方に必ず確認を取っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	利用者とは簡単なことばや絵カード、ジェスチャー等を用いてやりとりを行っている。保護者との伝達においても口頭のみではなく書面で対応するなどしている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	事業所の行事はないが自治会に入り、積極的に関わりを持つようにしている。	地域の方々と交流を持つこと。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	防災訓練を毎月1回行う中で、振り返りをし、反省点を次の訓練で改善できるようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	災害時に持ち出す物の確認は月に1回行う。また、訓練を行うことで職員自身が危険意識を常に持てるようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	保護者からの聞き取りを行い、注意点や対応等を確認している。また、薬は手渡しでの預かりを徹底しており、管理についても職員全員で把握するようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	保護者の方からの聞き取りなどを踏まえて、対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	委員会主導の下、研修を定期的に行っている。研修に参加した職員が事業所の職員全員に共有をし、その都度安全管理についての確認を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	保護者の方との連携がとれるように詳細を伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	記録として残し、再発防止の為の対応を必ず職員全員で確認している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	委員会主導の下、研修を定期的に行っている。研修に参加した職員が事業所の職員全員に共有をしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	やむを得ず身体拘束を行う場合には検討委員会にあげるようにする。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	波の家大久保駅前発達支援センター（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 8日 ～ 2024年 8月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2024年 8月 19日 ～ 2024年 8月 23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置について	指定基準より多くの人員を配置している。	職員間で連携を取りながら、一人一人に応じた計画を作成し、支援を行っていく。
2	様々な活動を提供している	利用者の方の年齢、日頃の様子などを踏まえながら一人一人に応じた内容で行っている。	保護者の方や利用者の方に要望を聞きながら活動内容を計画していく。
3	保護者のニーズに合わせた利用ができる	学校が代休や長期休暇の際には朝から預かるなど、保護者の方の希望に応じて預かっている。	保護者の要望を聞きながらできるだけ預かりニーズに対応できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のバリアフリー化	施設内の移動には階段が必須である。	移動の際には、職員が必ず付き添い、ペースをあわせる。また、お迎えの際に階段の上り下りが困難な方がいる場合には利用者の方と一緒に玄関までお送り。
2	家族支援プログラムや研修会、情報提供の機会が保護者に周知されていない。	実施していない期間があったため。	保護者の方が来やすいテーマや複数日の設定を検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 波の家久保駅前発達支援センター（放課後等デイサービス）

公表日 令和7年 2月 12日

利用児童数 7

回収数 4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	1		1		今後も活動スペースを十分に確保しながら活動に集中しやすい環境づくりを行います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	1		1		職員の配置数についてお伝えしながら、安心して預けて頂けるように今後も支援に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1		1		面談時等、施設に来られた際に部屋の様子を見ていただき、説明します。構造上、バリアフリー等難しいことがあるが、現状取り組んでいることを改めてお伝えしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	1		1		出来る限りの環境設定を行っていることをお伝えしていきます。そのうえで、さらに保護者の方に寄り添いながらご希望等を伺い、対応をしていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					今後も保護者の方と情報を共有しながら計画を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					今後も保護者の方と情報を共有しながら、一人一人に寄り添った支援内容を設定していきます。また、変更があった場合は再度お伝えしていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	1		1		利用者の方の希望を聞きながら、楽しんでいただけるような様々な活動を取り入れていきます。
保護者 への 説明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		2	1	1		現状としては難しいですが、強い希望があれば検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					今後も保護者の方に分かりやすく説明していくことを心掛けていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3			1		参加したいと思っていただけるような内容を設定していくとともに参加しやすい雰囲気を作っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4					保護者の方が伝えやすい雰囲気作りを行っています。また、保護者の方に現状をお伝えしながら共通理解に努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	1				
保護者 への 説明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	1		参加したいと思っていただけるような内容を設定していくとともに参加しやすい雰囲気を作っていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			1		相談や申し入れがあった際には、早急に対応していきます。また、相談しやすい雰囲気作りを行っています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			1		定期的にブログをアップしている事などをその都度お伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					個人情報の取り扱い方について、どのようにしているかを伝えていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1		1		今後も年間の予定に沿って定期的に実施していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1		策定されているマニュアル等をお伝えしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					事故等が発生した際にはマニュアルに沿いながら速やかに対応していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4					今後も一人一人に寄り添いながら安心して過ごしていただける空間作りを行います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4					日々楽しみに通所していただけるようなプログラムを設定していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					今後も保護者の方や利用者の方が安心して利用していただけるように支援をしていきます。